審　議　結　果

令和3年第6回定例会（8月5日）
（　）内は議案の補足説明です。

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田								公明党			志民ネット			チャレンジはんだ			維新・半田市民の会		自民クラブ		無所属	議決結果
		渡邉昭司	芳金秀展	鈴木幸彦	岩田玲子	竹内功治	沢田清	澤田勝	石川英之	山田清一	坂井美穂	山本半治	小栗佳仁	中村和也	小出義一	水野尚美	伊藤正興	國弘秀之	加藤美幸	中川健一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一	
議案55	令和3年度半田市一般会計補正予算第5号 （**総務**:地域振興券事業費の財源（約26億円）を、財政調整基金（約43億円）から繰入れる　**建設**:市民全員で市内経済を活性化させ、まちの活気を取り戻すため、市民1人当たり2万円分の地域振興券を配付する事業費で、交付金相当額、店舗の募集・登録、振興券作成や発送にかかる委託料、金融機関の換金手数料等を計上するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	原案可決

（表の見方）議は議長（採決に加わらない）、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

委員会での主な質疑

問 半田市に居住実態はあるが、半田市に住民票がないDV措置対象者は、申請をしなければ、地域振興券を受け取ることができないのか。

答 住民票がないDV措置対象者には、郵送で地域振興券を送ることが難しいため、申請制としています。

問 コロナ禍の影響を一番大きく受けているのは、ひとり親世帯や大学生であるため、ある程度対象を絞って支援をすべきだと思うが、そうではなく市民全体に地域振興券を配ることとした理由はなにか。

答 本事業の目的は、全市民で地域経済の活性化を図りたいとするものです。したがって、特定の対象者への支援は考えていません。

問 地域振興券が、支援を必要としている店舗で利用されるような工夫はあるか。

答 過去に行った同様の施策では、多くの商品券が大規模店やチェーン店で使用されてしまいました。そこで今回は、地域振興券の配分を、大規模店やチェーン店等で使える券を3割、中小規模店舗で使える券を7割としたことで、支援を必要としている中小規模店舗で使っていただけると考えています。

問 今回の事業の目的は、疲弊した市内経済を回すことであるとのことだが、市内経済が疲弊しているという根拠は何か。

答 半田商工会議所景気動向実態調査結果によると、景気感を示すD－値は回復していないことが示されています。この結果から、市内経済が疲弊していると考えています。また、知多地区の中小企業で働く方をサポートする団体「ワークリーちた」における半田市にある事業所の加入状況が、平成31年の4月には200の事業所が登録し、会員数は1843人でしたが、令和3年4月には、195事業者、会員数は1772人になっています。このことから、市内の雇用にも影響が出ていると判断しています。

問 困窮者支援とあるが、どのような人が何人ぐらいいると分析しているか。

答 人数は把握していませんが、半田市全体が疲弊していると捉えています。

討論

議案55号に反対

國弘秀之議員

本事業の目的である中小規模店の活性化、雇用機会の創出、困窮者支援等の効果については甚だ疑問です。

5か月間の実施では雇用増加も一時的で困窮者を救う支援になるとも思えず、終わりの見えないコロナ禍が、更に長期化する恐れがあるこの時期に、財政調整基金を取り崩してまで本事業を行う必要性があるとは思えません。

財政調整基金は災害など、やむを得ない理由で財源不足が生じた際の予算ですが本事業の内容を確認すれば、明らかに制度設計が不十分であるにも関わらず見切り発車をする手法には賛同できません。

困窮者支援についても、元を正せば、本当に困っている人にこそ、より手厚く支援を行うのが行政の本来の姿であり、生活困窮者ではない人達にまで基金を取り崩して一律配布をする必要があるのでしょうか。

半田市の未来の為、血税を一律配布する事に対し、反対を致します。